

スマートウエルネスみしまの推進

アナ： 「市長が語る 2023 三島」第3回の今日は、「スマートウエルネスみしま」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「スマートウエルネスみしま」の取り組みは、三島市の中でも、長く続けていらっしゃる重要施策の一つですが、具体的にはどのようなものでしょうか。

市長： 三島市では、あらゆる分野に健康の視点を取り入れる「スマートウエルネスシティ構想」による健幸都市づくりを進めてまいりました。

ここで言う「健幸」には、健やかで幸せという字を当てておりまして、三島に住んでいると、健康づくりを特に意識しなくても、毎日の生活が健康に繋がり、幸せになる、というようなまちを目指しています。

スマートウエルネスシティ構想とは、「健幸」をまちづくりの中核に位置付け、保健医療分野だけで健康増進を図るのではなく、生活環境や地域社会、学校や企業などあらゆる分野を視野入れ、人も都市も、そして産業までも健康にするという取り組みです。

その三島版が「スマートウエルネスみしま」になります。

アナ： スマートウエルネスみしまはどのように進めているのでしょうか。

市長： 3年ごとにアクションプランを作成しています。

現在は、「第4期スマートウエルネスみしまアクションプラン」に基づき、市民の皆様、民間企業の皆様と様々な取り組みを進めております。

アナ： アクションプランには、どのようなプロジェクトがあるのでしょうか。

市長： はい。アクションプランは、健康づくり、生きがい・きずなづくり、地域活性化・産業振興というつながりを意識して作成しており、今回のアクションプランでは、5つの重点プロジェクトを掲げております。

具体的には、誰もが気軽に簡単なスポーツや音楽演奏を楽しめるストリートを活用したイベントの促進や、人生100年時代に求められるリカレント教育の推進、あるいは、サイクリングライフの促進などがあります。

中でも、今年度、特に力を入れていきたい事業が「健幸DX推進事業」です。

アナ： なるほど。健康づくりはもちろん、生きがいづくりや地域活性化などにつながるプロジェクトが並んでいますね。

ところで、今年度、力を入れていきたいという「健幸DX推進事業」について詳しく教えてください。

市長： はい。デジタル媒体を活用し、市民の皆様がご自身の健康に関心を持ち、楽しみながら健康管理ができる仕組みを構築することで、皆様の健康づくりを促進していく事業で、具体的な取り組みとして、昨年12月から、KENPOS

(ケンポス)」という健幸アプリをスタートいたしました。

これは、毎日の歩数、体重、運動、食生活などを記録したり、対象のイベントに参加することで貯まったポイントを電子マネーや様々な商品に交換することができるというもので、現在、2,000名を超える方にご参加いただいております。

2月23日に実施いたしました、KENPOSを活用し、チェックポイントにあるQRコードを読み込むことでポイントが貯まる「富士山ウォークラリー」というイベントも大盛況でした。

アナ： スマートフォンのアプリで健康管理とまち歩きを楽しめるのであれば、幅広い年齢層の方に利用していただければそうですね。

今後はどのような計画があるのでしょうか。

市長： はい。健幸アプリの登録をされた方が、引き続き利用したくなるようなキャンペーンや、「富士山ウォークラリー」のようなイベントを定期的を実施していきたいと考えております。

また、できるだけ多くの方にKENPOSをご利用いただくことで、市民の皆様へのITリテラシーの向上のきっかけとなればと思っております。

住んでいるだけで健幸になるまちの実現に向け、今後も工夫を重ねながら取り組んでまいります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。